



2018年12月期 第2四半期  
**決算説明資料**

---

2018年8月17日

株式会社ソディック

A solid green horizontal bar at the bottom of the page.

<b>2017年12月期（前期）連結対象期間について</b> .....	<b>3</b>
<b>I. 2018年12月期 2Q決算概要</b> .....	<b>4</b>
<b>II. 比較参考数値</b> .....	<b>13</b>
<b>III. 2018年12月期 業績予想</b> .....	<b>17</b>
<b>（参考資料）</b> .....	<b>22</b>

## 2017年12月期（前期） 連結対象期間について

- ✓ 2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、中国の子会社との3ヶ月間の期ズレを解消。2017年12月期は9ヶ月間の変則決算となります。

### ①2017年12月期 第2四半期の連結対象期間（財務報告ベース）

- 旧3月決算会社：2017年4～9月 ●12月決算会社（中国の7社）：2017年1～9月

		2017年12月期			2018年12月期			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
	1-3月	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
旧3月決算会社		6ヶ月			6ヶ月			
12月決算会社		9ヶ月			6ヶ月			

### ②比較参考数値の連結対象期間（比較参考数値：調整後）

- 2017年：全社 2017年1～6月 ●2018年：全社 2018年1～6月

		2017年12月期			2018年12月期			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
	1-3月	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
旧3月決算会社								
12月決算会社								

※比較参考数値はP.13～P.16 をご参照下さい。

# I. 2018年12月期 2Q決算概要

---

## 業績ハイライト (財務報告ベース)

- ✓ 中国において春節休暇明けから放電加工機の販売が好調に推移し、売上高は概ね期初計画通りに進捗。
- ✓ 放電加工機の販売台数が大幅に増加したほか、生産性が向上したことにより、売上総利益率が改善。

(百万円)

	2017年12月期 2Q		2018年12月期 2Q		2018年12月期 通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	
売上高	42,408	-	41,416	-	81,000
売上総利益	14,574	34.4%	15,290	36.9%	-
営業利益	4,206	9.9%	5,277	12.7%	8,000
経常利益	4,466	10.5%	5,185	12.5%	8,000
純利益	3,159	7.4%	3,677	8.9%	5,700

期中平均 為替レート	ドル	111.04 円	108.67 円	112.00 円
	ユーロ	126.32 円	131.55 円	132.00 円
	人民元	16.47 円	17.09 円	16.90 円
	バーツ	3.28 円	3.43 円	3.40 円

※参考情報 2018年6月末 為替レート    ドル：110.54円    ユーロ：127.91円    人民元：16.66円    バーツ：3.33円  
 2017年9月末 為替レート    ドル：112.73円    ユーロ：132.85円    人民元：16.96円    バーツ：3.38円

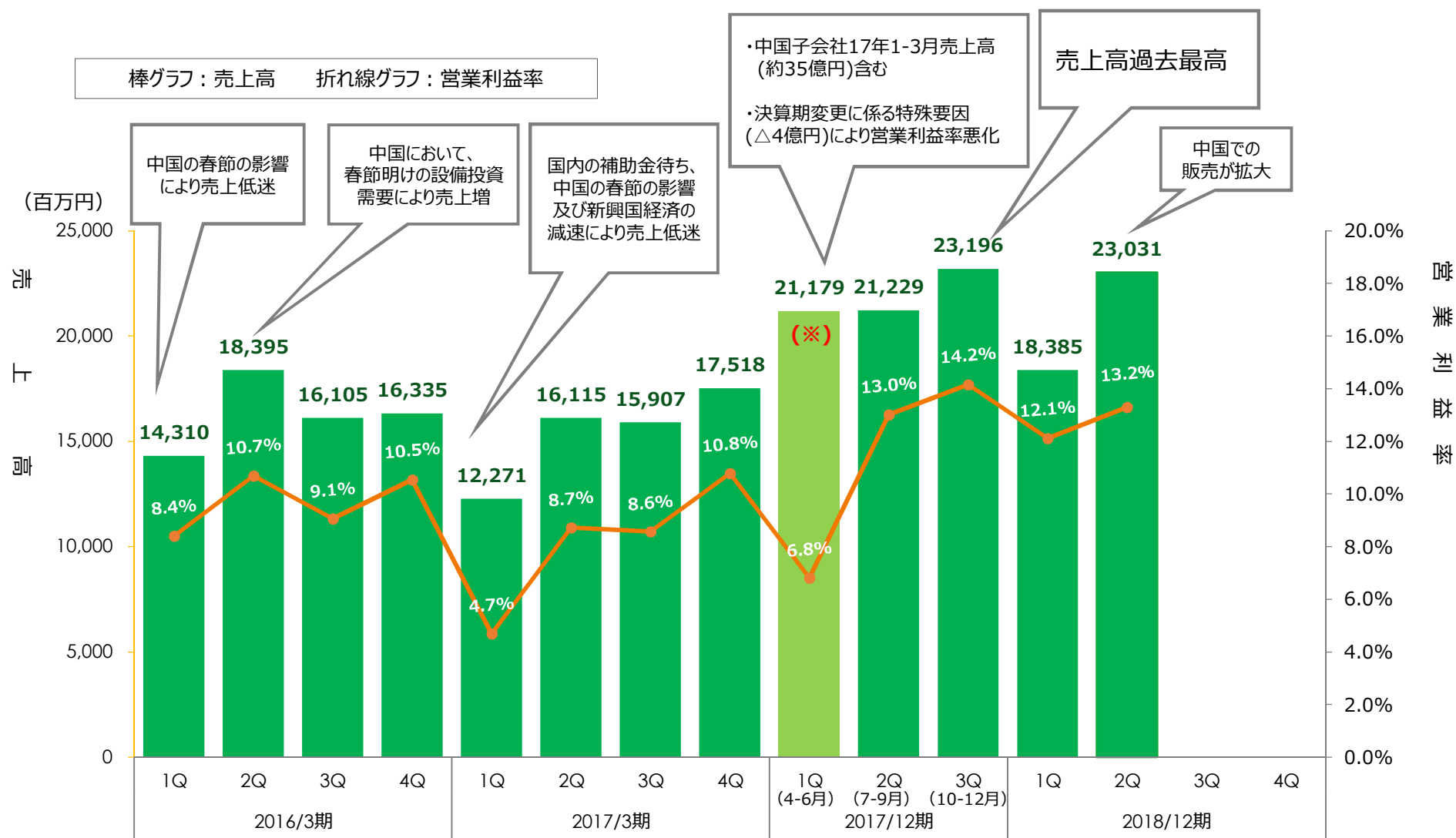
※決算期変更に伴い、2017年12月期第2四半期は旧3月決算会社は4～9月の6ヶ月間、12月決算会社は1月～9月の9ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

※2017年12月期2Q 決算期変更に伴う影響額（営業利益に対し約4億円マイナス）。

# 売上高・営業利益率推移（四半期毎：財務報告ベース）



- ✓ 第2四半期は中国において春節休暇明けから放電加工機の販売が好調に推移した結果、売上高は第1四半期から大幅に増加、営業利益率は13.2%と高水準を確保。



(※)決算期変更による変則決算のため、中国の12月決算会社の17年1-3月の数値を含みます。

# セグメント別業績 (財務報告ベース)



(百万円)

		2017年12月期	2018年12月期
		2Q 実績	2Q 実績
売上高	● 工作機械事業	31,494	29,980
	● 産業機械事業	6,531	4,981
	● 食品機械事業	1,493	3,151
	● その他事業	2,888	3,303
		42,408	41,416
セグメント利益	● 工作機械事業	4,220	5,179
	● 産業機械事業	714	302
	● 食品機械事業	△ 68	424
	● その他事業	653	695
		5,519	6,602
調整額		△ 1,313	△ 1,324
営業利益 合計		4,206	5,277

※決算期変更に伴い、2017年12月期第2四半期は旧3月決算会社は4～9月の6ヶ月間、12月決算会社は1月～9月の9ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前年同四半期比増減については記載しておりません。

## 工作機械事業

- ✓ 中国はスマートフォン関連がやや停滞感があるものの、ものづくりの高度化や自動化対応、政府の補助金政策などが追い風となり、電動化が進む自動車関連、活況な半導体関連を中心に大幅に販売が伸長。
- ✓ 日本は自動車及び半導体関連が引き続き堅調。
- ✓ 北米は自動車関連で設備投資にやや慎重さが見られる。
- ✓ 欧州（ドイツ、イタリア、イギリス）は、自動車、航空宇宙関連が堅調。
- ✓ その他アジア地域（タイ、インド、マレーシア等）は自動車、半導体関連需要あり。

## 産業機械事業

- ✓ 日本はコネクタ、センサー部品などの自動車関連が堅調。
- ✓ 北米は医療機器関連を中心に引き続き安定した需要あり。
- ✓ 中国、アジアのスマートフォン関連需要は一服感あり。

## 食品機械事業

- ✓ 調理麺の品質向上のための設備投資需要は引き続き堅調。
- ✓ 日本及びアジアで包装米飯製造装置の需要増加。
- ✓ 1Qで検収が遅れていた案件が2Qにて計上されたため、売上高・利益ともに増加、概ね計画通りに進捗。

## その他事業

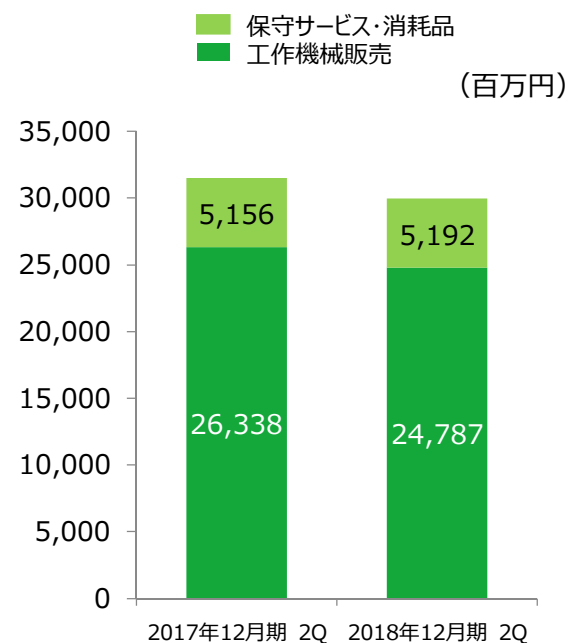
- ✓ 精密金型・精密成形事業では金属3Dプリンタで造形した金型とその専用射出成形機を使った高精密度金型成形の開発に取組中。
- ✓ 半導体製造装置向けを中心にセラミックスの販売が好調。

# セグメント別 売上高内訳 (財務報告ベース)

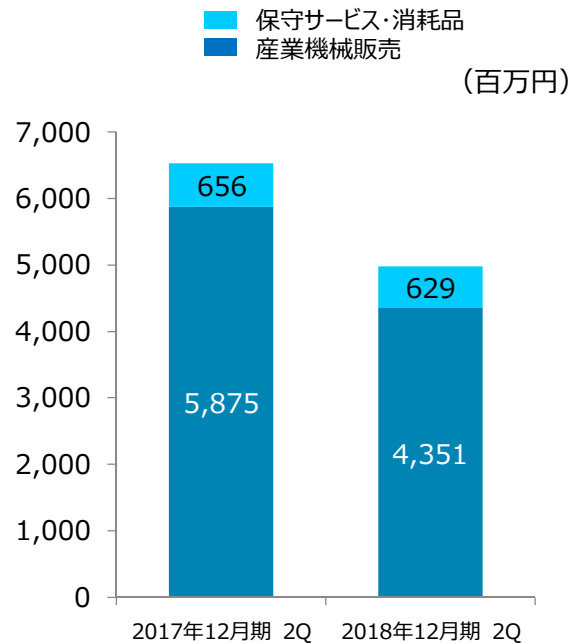


✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は16%程度を占める。

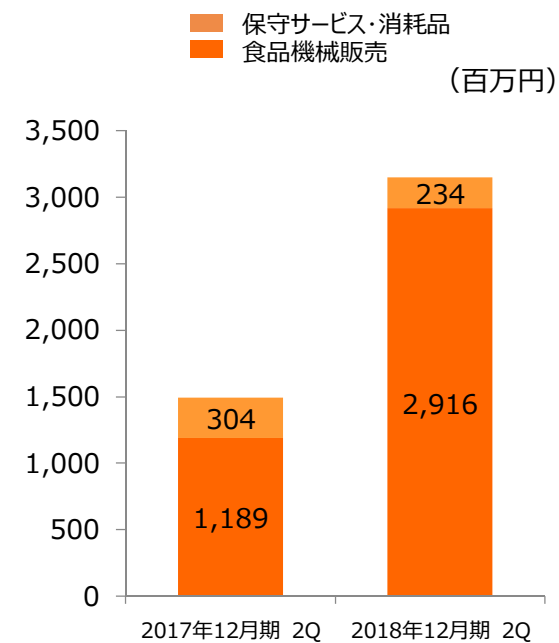
## 工作機械事業



## 産業機械事業



## 食品機械事業



工作機械事業	2017年12月期 2Q	2018年12月期 2Q
工作機械販売	26,338	24,787
保守サービス・消耗品	5,156	5,192
合計	31,494	29,980

産業機械事業	2017年12月期 2Q	2018年12月期 2Q
射出成形機販売	5,875	4,351
保守サービス・消耗品	656	629
合計	6,531	4,981

食品機械事業	2017年12月期 2Q	2018年12月期 2Q
食品機械販売	1,189	2,916
保守サービス・消耗品	304	234
合計	1,493	3,151

※決算期変更に伴い、2017年12月期第2四半期は旧3月決算会社は4～9月の6ヶ月間、12月決算会社は1月～9月の9ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

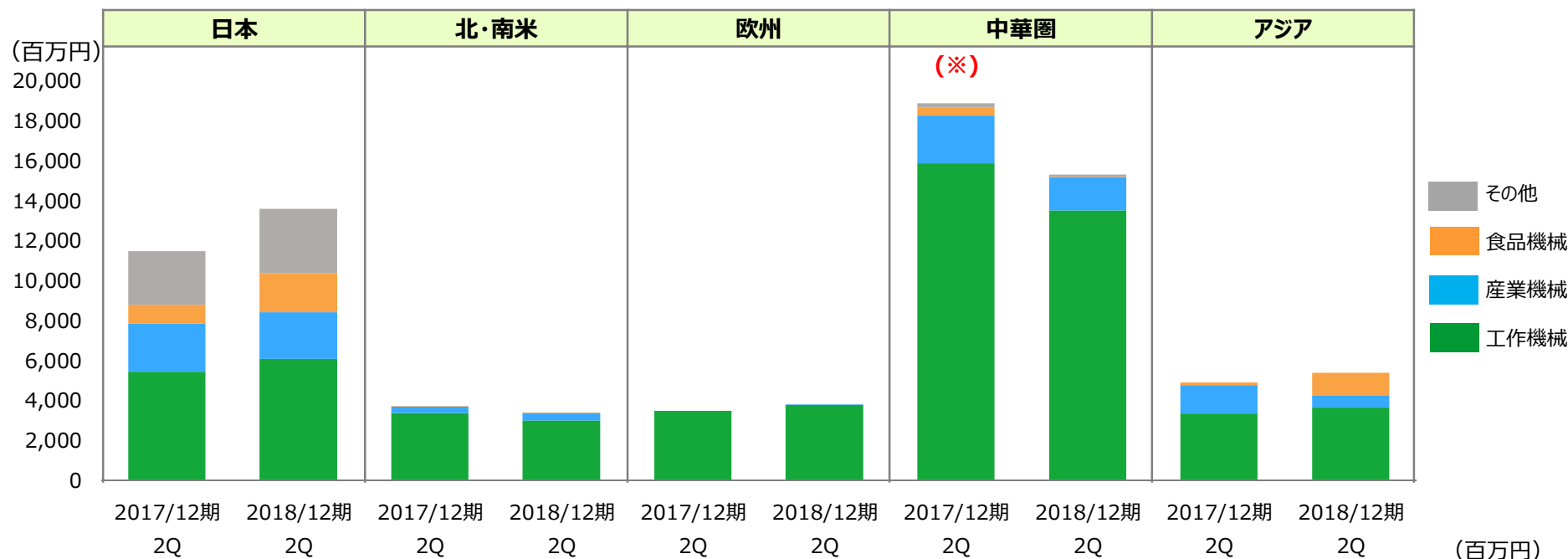


# 事業別海外売上高比率 (財務報告ベース)



✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は67.2%

※決算期変更による変則決算のため、  
中国の12月決算会社の17年1-3月の数値を含みます。



2017年12月期2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,437	17.3%	3,366	10.7%	3,470	11.0%	15,876	50.4%	3,343	10.6%	31,494	74.3%
産業機械	2,400	36.7%	310	4.7%	0	0.0%	2,401	36.8%	1,418	21.7%	6,531	15.4%
食品機械	963	64.5%	1	0.1%	-	-	400	26.8%	127	8.5%	1,493	3.5%
その他	2,686	93.0%	-	-	-	-	202	7.0%	-	-	2,888	6.8%
地域別計	11,488	27.1%	3,677	8.7%	3,470	8.2%	18,881	44.5%	4,890	11.5%	42,408	100.0%

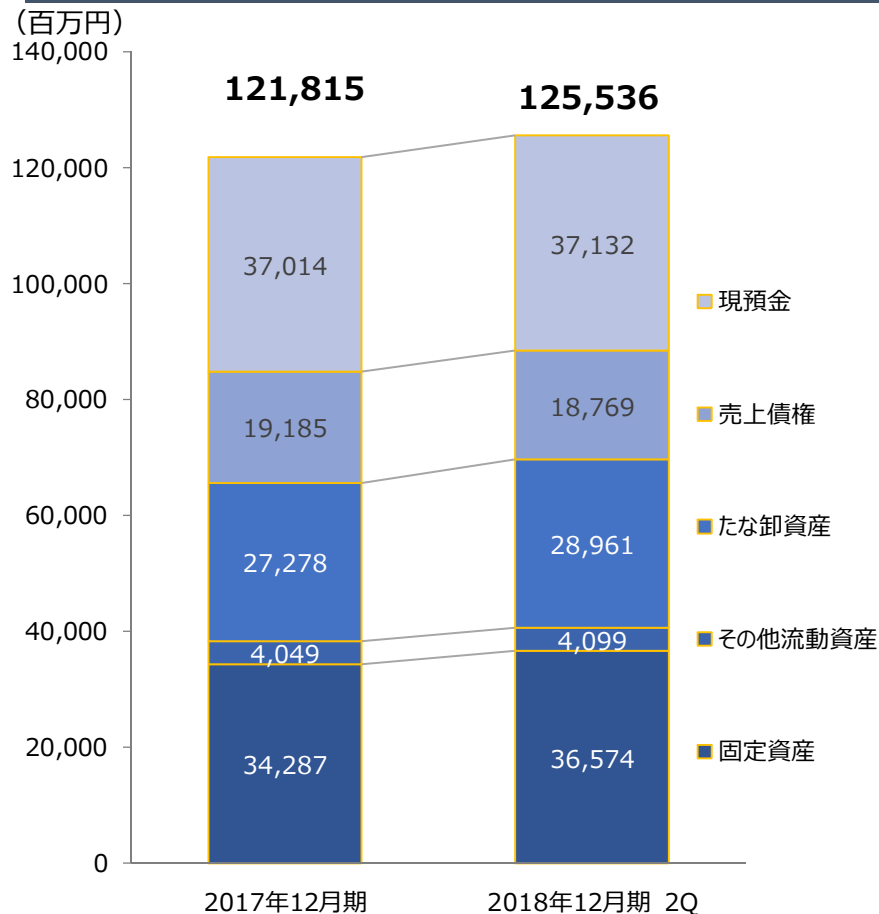
  

2018年12月期2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	6,068	20.2%	2,994	10.0%	3,774	12.6%	13,502	45.1%	3,641	12.1%	29,980	72.4%
産業機械	2,345	47.1%	359	7.2%	18	0.4%	1,681	33.8%	575	11.5%	4,981	12.0%
食品機械	1,967	62.4%	4	0.1%	-	-	24	0.8%	1,155	36.7%	3,151	7.6%
その他	3,208	97.1%	-	-	-	-	95	2.9%	-	-	3,303	8.0%
地域別計	13,589	32.8%	3,358	8.1%	3,792	9.2%	15,303	36.9%	5,372	13.0%	41,416	100.0%

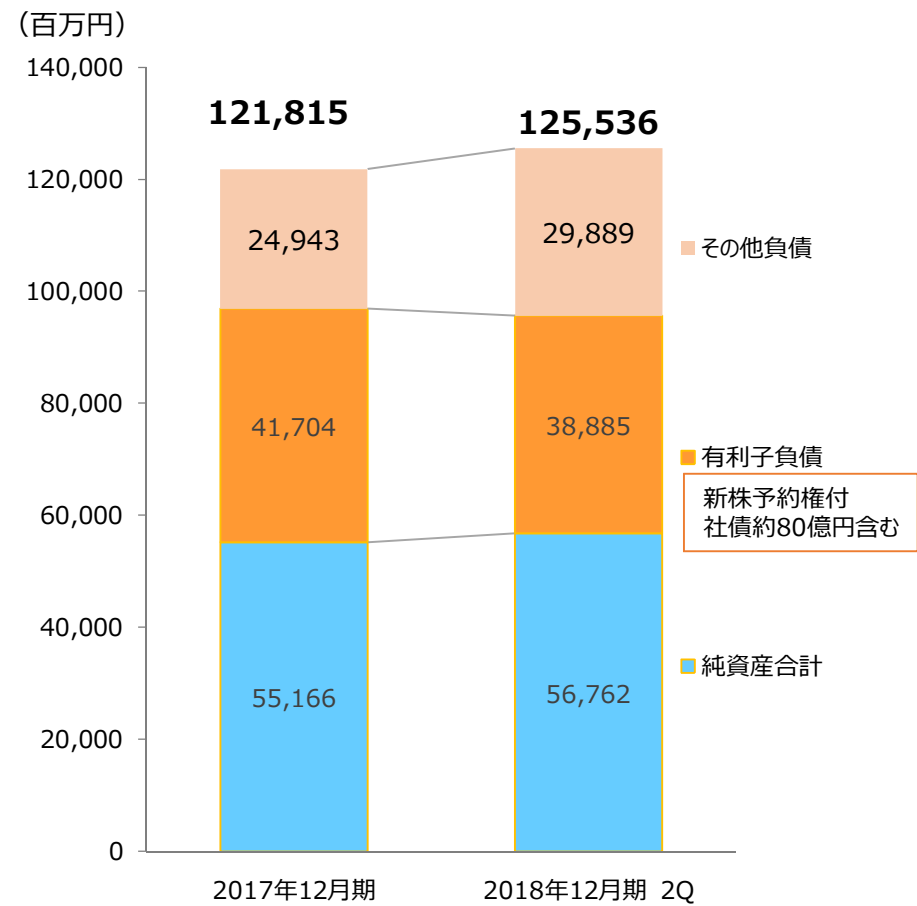
# 貸借対照表

- ✓ 国内外の積極的な設備投資に伴い、固定資産が大幅に増加。  
(加賀マルチファクトリー、物流センター、本社2号棟(研究棟)、北米販社新オフィス、欧州販社新オフィス用土地、タイ工場第2工場増設、宮崎工場(精密金型精密成形事業)など)
- ✓ ネット有利子負債は17億53百万円(前期末比29億37百万円減少)

## 資産



## 負債・純資産



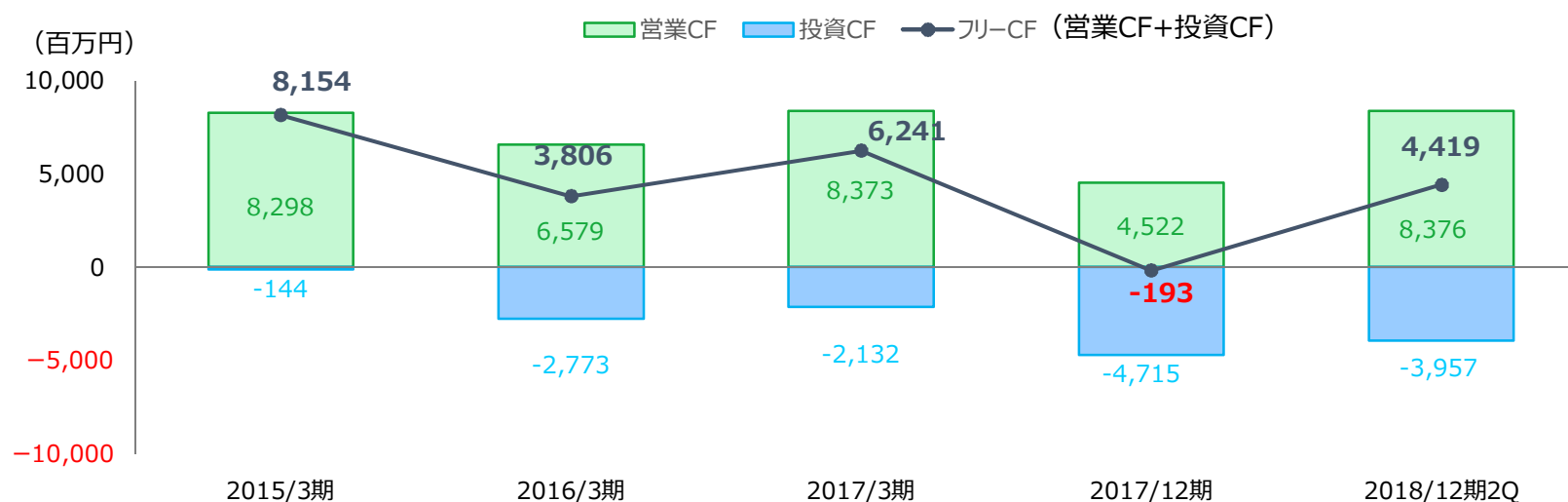
※参考情報 2018年6月末 為替レート ドル：110.54円 ユーロ：127.91円 人民元：16.66円 バーツ：3.33円  
2017年12月末 為替レート ドル：113.00円 ユーロ：134.94円 人民元：17.29円 バーツ：3.45円

# キャッシュ・フロー

- ✓ 営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前純利益、仕入債務、前受金の増加等により大幅に増加。  
投資活動によるキャッシュ・フローは国内外の設備投資に伴い大幅に増加したものの、  
フリーキャッシュ・フローは44億19百万円のプラスを確保。

(百万円)

	2017年12月期 2Q	2017年12月期	2018年12月期 2Q	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,921	4,522	8,376	たな卸資産の増加 △約24億円 仕入債務の増加 約20億円 前受金の増加 約28億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,771	△4,715	△3,957	有形固定資産の取得 △約42億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△255	△439	△3,420	長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	37,306	36,075	36,356	



## 1 本社 技術/研究センター 2号棟完成

本社 技術/研究センター 2号棟（新研究開発棟）が5月中旬に完成致しました。6月中旬より、研究開発部門が2号棟に移動し業務を開始しています。2号棟では、実験室を大幅に拡充したほか、最新研究設備を順次導入し、金属3Dプリンタ関連の研究開発、新電源、次世代CNC等の要素技術の開発を強化してまいります。

【本社/技術・研究センター 2号棟 概要】

場所：横浜市都筑区仲町台3丁目12番1号

面積：2,028平米

構造：鉄骨造り4階建



## 2 ソディック・インク グランドオープニングを開催

2018年5月22～24日に、北米の販売拠点であるSodick, Inc.（アメリカ イリノイ州）にて新オフィスの大規模なグランドオープニングを開催致しました。グランドオープニングでは、今年2月より業務を開始した新社屋のお披露目と共に、最新機種を展示し、多数のお客様にご来場頂きました。新社屋は、販売、アフターサービス、消耗品販売などを充実させることを目的とし、ショールーム、インスペクション・ルームを拡充することで、現行機種、旧機種など様々な製品をサポートする体制を整えています。また、金属3Dプリンタ、放電加工機など最新鋭の設備を常設し、ベンチマークテストやテスト加工、最適な加工方法を提案するため、テックセンターとしての機能も強化しています。

【Sodick, Inc.グランドオープニング概要】

場所：Sodick, Inc. 601 Commerce Drive, Schaumburg, Illinois 60173, USA

期間：2018/5/22-24（3日間）

出展機種：ワイヤ放電加工機 ALNシリーズ、VLシリーズ

形彫り放電加工機 AGシリーズ、ADシリーズ

精密金属3Dプリンタ OPM250L、OPM350L等



## Ⅱ. 比較参考数値

---

※監査法人による監査を受けていない参考数値です。

※比較参考数値は、決算期を3ヵ月ずらして連結していた中国の連結子会社の期ズレを解消し、全会社の連結対象期間を統一し調整した数値です。

(百万円)

	2017年1～6月		2018年12月期 2Q (2018年1～6月)		増減		2018年 通期予想
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	34,317	-	41,416	-	7,099	20.7%	81,000
売上総利益	12,283	35.8%	15,290	36.9%	3,007	24.5%	-
営業利益	2,931	8.5%	5,277	12.7%	2,346	80.1%	8,000
経常利益	2,945	8.6%	5,185	12.5%	2,239	76.0%	8,000
純利益	1,911	5.6%	3,677	8.9%	1,765	92.4%	5,700
	売上高比率		売上高比率				
設備投資額	1,512	4.4%	4,679	11.3%			8,000
減価償却費	1,481	4.3%	1,508	3.6%			3,300
研究開発費	2,143	6.2%	2,078	5.0%			4,200
期中平均 為替レート	ドル	112.34 円		108.67 円			112.00 円
	ユーロ	121.66 円		131.55 円			132.00 円
	人民元	16.39 円		17.09 円			16.90 円
	バーツ	3.24 円		3.43 円			3.40 円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

# セグメント別業績 ※比較参考数値（調整後）



(百万円)

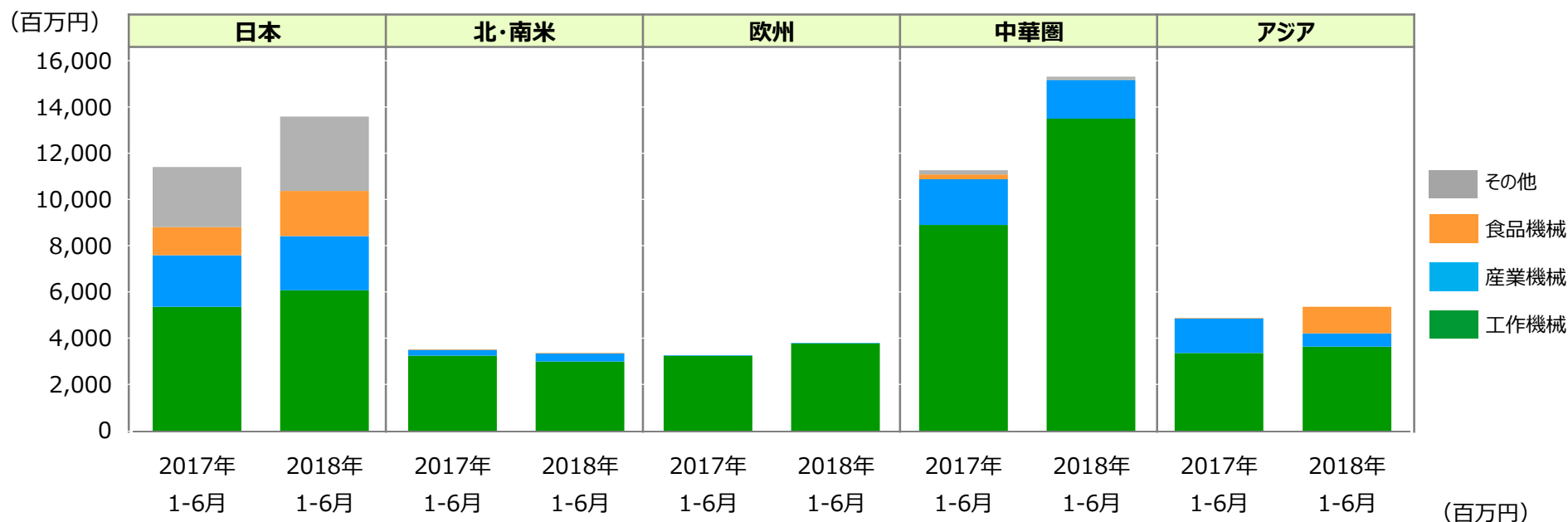
		2017年1~6月	2018年12月期 2Q (2018年1~6月)	増減	
		実績	実績	(額)	(率)
売上高	● 工作機械事業	24,112	29,980	5,867	24.3%
	● 産業機械事業	5,993	4,981	△ 1,011	△16.9%
	● 食品機械事業	1,431	3,151	1,719	120.1%
	● その他事業	2,780	3,303	523	18.8%
		34,317	41,416	7,099	20.7%
セグメント利益	● 工作機械事業	3,151	5,179	2,028	64.4%
	● 産業機械事業	795	302	△ 493	△62.0%
	● 食品機械事業	△ 160	424	584	—
	● その他事業	466	695	229	49.2%
		4,253	6,602	2,348	55.2%
	調整額	△ 1,322	△ 1,324	△ 2	—
	営業利益 合計	2,931	5,277	2,346	80.1%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

# 事業別海外売上高比率 ※比較参考数値（調整後）



✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は67.2%に増加（前年同期間比+0.4ポイント）



2017年1-6月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,357	22.2%	3,245	13.5%	3,259	13.5%	8,892	36.9%	3,357	13.9%	24,112	70.2%
産業機械	2,234	37.3%	263	4.4%	0	0.0%	1,997	33.3%	1,497	25.0%	5,993	17.5%
食品機械	1,218	85.2%	19	1.3%	-	-	188	13.2%	5	0.3%	1,431	4.2%
その他	2,599	93.5%	-	-	-	-	181	6.5%	-	-	2,780	8.1%
地域別計	11,409	33.2%	3,528	10.3%	3,259	9.5%	11,259	32.8%	4,861	14.2%	34,317	100.0%

2018年12月期2Q (18年1-6月)	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	6,068	20.2%	2,994	10.0%	3,774	12.6%	13,502	45.1%	3,641	12.1%	29,980	72.4%
産業機械	2,345	47.1%	359	7.2%	18	0.4%	1,681	33.8%	575	11.5%	4,981	12.0%
食品機械	1,967	62.4%	4	0.1%	-	-	24	0.8%	1,155	36.7%	3,151	7.6%
その他	3,208	97.1%	-	-	-	-	95	2.9%	-	-	3,303	8.0%
地域別計	13,589	32.8%	3,358	8.1%	3,792	9.2%	15,303	36.9%	5,372	13.0%	41,416	100.0%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

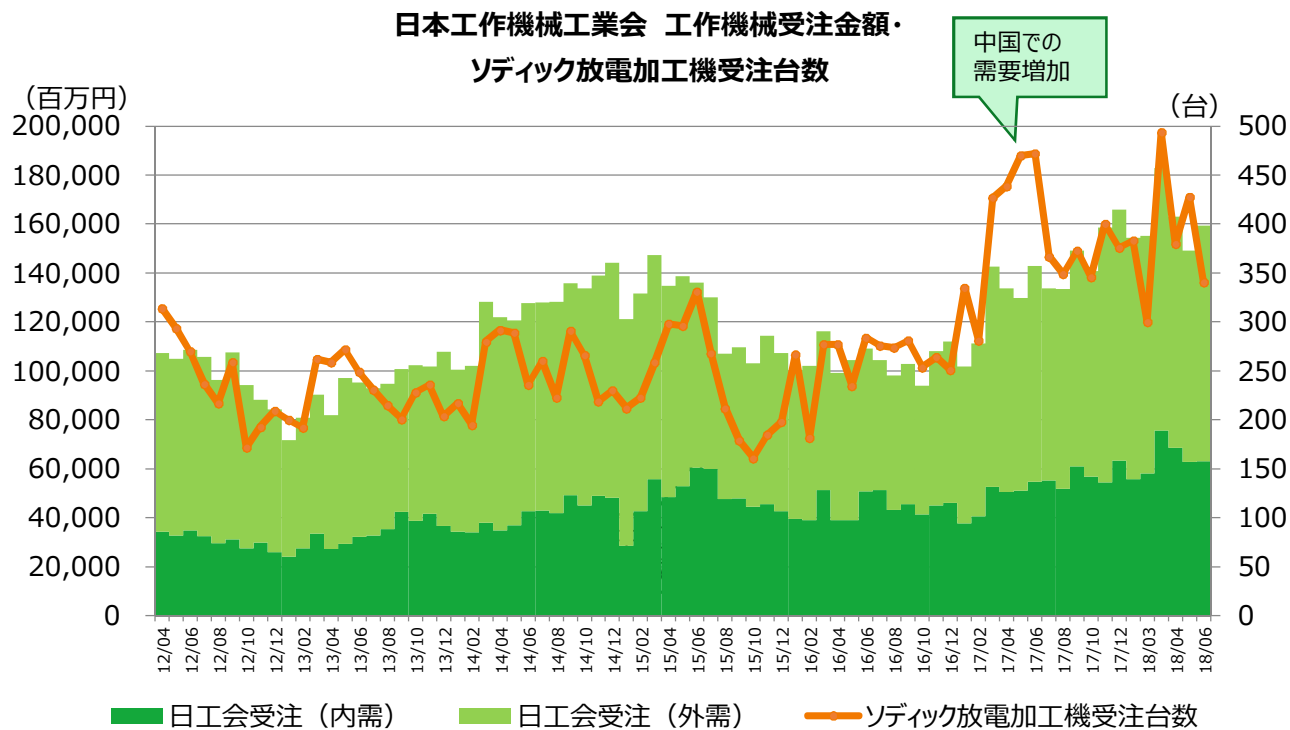


## Ⅲ. 2018年12月期 業績予想

---

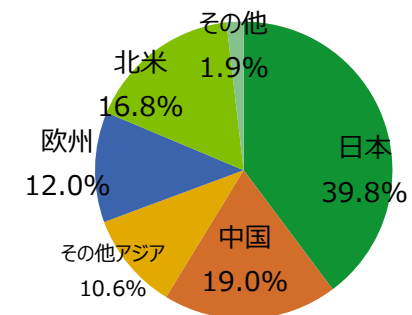
## 市場環境

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要が継続する見通し。
- ✓ 北米：法人税減税政策により、自動車、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：ロシアやトルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題などもあり先行きに不透明感はあるものの、自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国：ものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、自動車関連を中心に高精度な機械の需要は継続する見通し。
- ✓ アジア：タイ、マレーシアなどでは自動車関連を中心に回復基調が継続する見通し。



出典：日本工作機械工業会

日本工作機械工業会  
工作機械 地域別受注構成比  
(2018年1月-2018年6月累計)



出典：日本工作機械工業会

## 2018年12月期 通期業績予想



- ✓ 米国、中国の通商政策の影響などの懸念材料があり先行きに不透明感が見られる中で、第2四半期の業績等を踏まえ、通期業績予想は据え置き。

(百万円)

	2018年12月期 2Q		2018年12月期 通期		進捗率	2017年12月期 (全社1-12月 換算) 実績
	実績	利益率	予想	利益率		
売上高	41,416	-	<b>81,000</b>	-	51.1%	78,714
営業利益	5,277	12.7%	<b>8,000</b>	<b>9.9%</b>	66.0%	9,161
経常利益	5,185	12.5%	<b>8,000</b>	<b>9.9%</b>	64.8%	9,384
当期純利益	3,677	8.9%	<b>5,700</b>	<b>7.0%</b>	64.5%	6,664

期中平均 為替レート	ドル	108.67円		112.00円			112.16円
	ユーロ	131.55円		132.00円			126.70円
	人民元	17.09円		16.90円			16.62円
	バーツ	3.43円		3.40円			3.31円

# セグメント別 通期業績予想



		2018年12月期	2018年12月期	通期計画 進捗率	(百万円)	
		2Q 実績	通期予想		2017年12月期 (全社1-12月)	実績
売上高	● 工作機械事業	29,980	<b>57,000</b>	52.6%	55,796	
	● 産業機械事業	4,981	<b>12,100</b>	41.2%	12,721	
	● 食品機械事業	3,151	<b>5,900</b>	53.4%	4,435	
	● その他事業	3,303	<b>6,000</b>	55.1%	5,760	
			41,416	<b>81,000</b>	51.1%	78,714
セグメント利益	● 工作機械事業	5,179	<b>8,370</b>	61.9%	9,300	
	● 産業機械事業	302	<b>1,000</b>	30.2%	1,471	
	● 食品機械事業	424	<b>550</b>	77.1%	127	
	● その他事業	695	<b>680</b>	102.2%	846	
			6,602	<b>10,600</b>	62.3%	11,745
調整額		△ 1,324	△ <b>2,600</b>	50.9%	△ 2,583	
営業利益 合計		5,277	<b>8,000</b>	66.0%	9,161	

## 工作機械事業

- ✓ 国内は補助金政策や老朽化設備の更新需要もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は法人税減税政策等により設備投資需要の増加が見込まれているほか、欧州も設備投資需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国は、自動車、半導体関連を中心に高精度機の需要が引き続き好調に推移する見通し。
- ✓ タイ・マレーシアなどでは自動車関連からの需要が継続する見通し。

## 産業機械事業

- ✓ 国内市場は自動車、電子部品、半導体関連を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏およびアジア地域では自動車関連向けの高精度な機械需要が増加しており、堅調な受注水準が継続する見通し。

## 食品機械事業

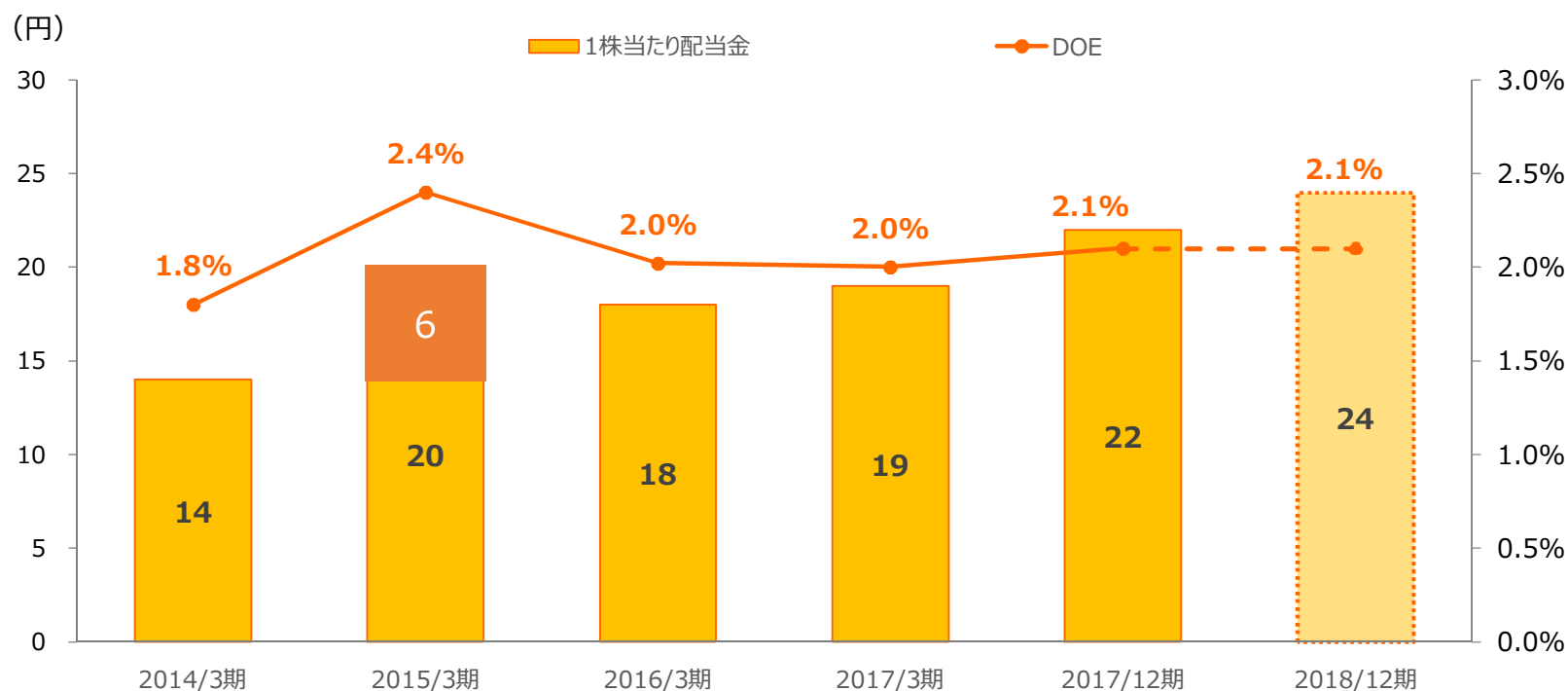
- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、包装米飯・包装惣菜、製菓など製麺業界以外の販売が拡大していく見通し。

## その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

# 株主還元方針及び配当予想

- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2018年12月期の年間配当金は、24円の予定（中間12円、期末12円）



一部上場記念  
配当6円含む

**(参考資料)**

---

# 国内外の拠点



本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点

## 主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
2018年				
9/10~15	USA	シカゴ	IMTS2018	世界最大級の工作機械展示会
9/18~22	ドイツ	シュトゥットガルト	AMB (International exhibition for metal working)	
10/9~13	イタリア	ミラノ	31.BiMu (trade fair for metal forming and cutting machines)	
10/31~11/2	日本	名古屋	2018 名古屋プラスチック工業展	
11/1~6	日本	東京	JIMTOF 2018	世界最大級の工作機械展示会
11/8~10	日本	横浜	日本ダイカスト会議・展示会	
11/27~30	中国	東莞	DMP 2018 (国際金型・金属加工・プラスチック・包装展)	
12/5~7	日本	幕張	高機能プラスチック展/ファインテックジャパン	
2019年				
1/24~30	インド	バンガロール	IMTEX2019(Indian Metal-cutting Machine Tool Exhibition)	
2/5~8	ドイツ	ライプツィヒ	Intec2019	
3/4~9	台湾	台北	TIMTOS (Taipei International Machine Tool Show)	
4/15~20	中国	北京	CIMT (China International Machine Tool Show)	
5/8~11	タイ	バンコク	Intermach	
5/14~16	USA	マサチューセッツ	eastec	
5/20~23	USA	ミシガン	Rapid	3Dプリンタの展示会
5/21~24	中国	広州	Chinaplas 2019 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
5/22~25	マレーシア	クアラルンプール	METALTECH 2019	
5/27~31	ロシア	モスクワ	Metalloobrabotka (international show for the machine tool and metalworking industry)	
6/19~22	タイ	バンコク	Intermold/Interplus	



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835